

## センセイコール(16)

18) ファイルを開けない(2重に開いている)

19) 画面が反応しない、エラーが出る、音がたくさん聞こえる(ソフトの複数起動)

いずれも、パソコンの画面で、ソフトの起動後、マウスポインタが砂時計になっているのに、更に起動をかけたか、起動のためのEnterキーを「押さえ」てしまった(連打とみなされた)結果です。

前者は、ジャストスマイルのワープロ。ワープロ起動に少し時間がかかるので、待てずに2回目を起動(「ワープロ」をクリック)します。始めのワープロで自分のファイルを開いたところに、二つ目のワープロが起動するので、画面が新規文書に変わり、そこで更に自分のファイルを開こうとして、「すでに開いています」のメッセージが出ることになります。

このときは、キャンセルして、ウィンドウを閉じます。(画面右上、タイトルバーのすぐ下の黒い×マーク)

後者は、ランドセルシリーズと「かわらわり」(キーボード練習の Ozawa-Ken)、音は出ませんが、ワードでもよく起こります。起動中を意味する砂時計表示を無視してEnter キーを連打したか、起動する際、Enterキーを「押さえ」て(連打とみなされる)しまった結果です。

ランドセルシリーズでは、初期画面の音が「裏で」たくさん聞こえて、動作が遅くなるか、マウス操作ができなくなります(応答なし)。操作可能な場合は、開いた数だけ閉じていきます。反応しなくなったら、強制終了(Ctrl+Alt+Delete、タスクマネージャ使用)するしかありません。あまりたくさん起動しすぎると、強制終了操作もできなくなります。このときは、先生機から終了するか、それもできなければ、電源ボタンで終了することになり、パソコンにとっては最悪の事態です。

これほどでない場合は、授業の終わりに、「(ソフトを)終わったのにまた始まった」ということになります。これも、次々と、なくなるまで終了します。

「かわらわり」では、複数起動するとエラー表示が出ます。これは、「OK」をクリックしていけば大丈夫です。最後のメッセージに「OK」で答えると、真っ黒い画面に、「キーボードとマウスの練習」ウィンドウが乗った状態になりますから、これを閉じるか、周りの黒い部分をクリックします。

こういう事態に陥らないためには、画面上での表示、特にマウスの形状(砂時計)に注意する習慣をつけることが大切です。